

Solan Primary School

4th grade news letter

Venture

Fourth

2023. Nov. 1

点火のワケを考えよう②

一昨日のことです。

2年2組のみんなが4回にアルモノを見学に来ました。

お目当ては、谷口くんや入野くんや成田くんが作っている新聞です。

「すごーい!」「これ自分で作ったの!?!」「やっば・・・」



そんな声が聞こえてきたときに撮影したのがこの写真です。

その時はちょうど4年生は別の授業だったので、私は2年生の近くに行っ
て簡単に補足説明してあげることにしました。

「やりなさいって言われて書いたんじゃないよ自分で書き始めたんだよ」

「最初に書いた子に影響を受けてクラスの他の友達も始めてね」

「記事の中には読者が参加できるように工夫している部分があるんだよ」

「10枚を自分で目標にして書いている子もいてね。」

説明をすると、2年生はさらに目を丸くして驚いていました。

この自主制作の新聞の取り組みにも「点火のワケ」が存在します。

いきなり火はついたりしません。

しかるべき理由があって、しかるべき状況が生まれて、そして火がつくの
です。

昨日、授業見学に来られたお家の方がグラウンドで走り続ける子どもたち
の姿を見てとても驚かれています。

「ただ走る」という取り組みに、なぜこれだけの情熱が注がれるようになる
のか。

それは、国語の授業でも算数の授業でも同じことが起きました。

昨日は他の学年からもお家の方が見学に来られたわけですが、その時に驚
かれていたのが「辞書引き」です。

分からない言葉があった時に、国語辞典で言葉を調べる。

たったこれだけです。

これが4-1では、超人気メニューの学習になっているのです。

その姿を見て、お家の方々はまだまた驚いていました。

「本当に楽しそう！」

と目を丸くしておられました。

新聞を書くことも、辞書を引くことも、延々と走り続けることも、一つ一
つはそれほど面白味は無いことかもしれません。

いえ、むしろそれを敬遠してきた方も少なくないはずです。

でも、火はつくのです。

それがやりたくて仕方ないという段階にまで進むことができることを、今
4-1の子たちは実際の姿で示してくれています。

その姿に、後輩たちが「尊敬」や「憧れ」を覚えています。

それだけではなく、今全国からみんなの学習する姿を見たいと授業見学の

申し込みが続々とされています。

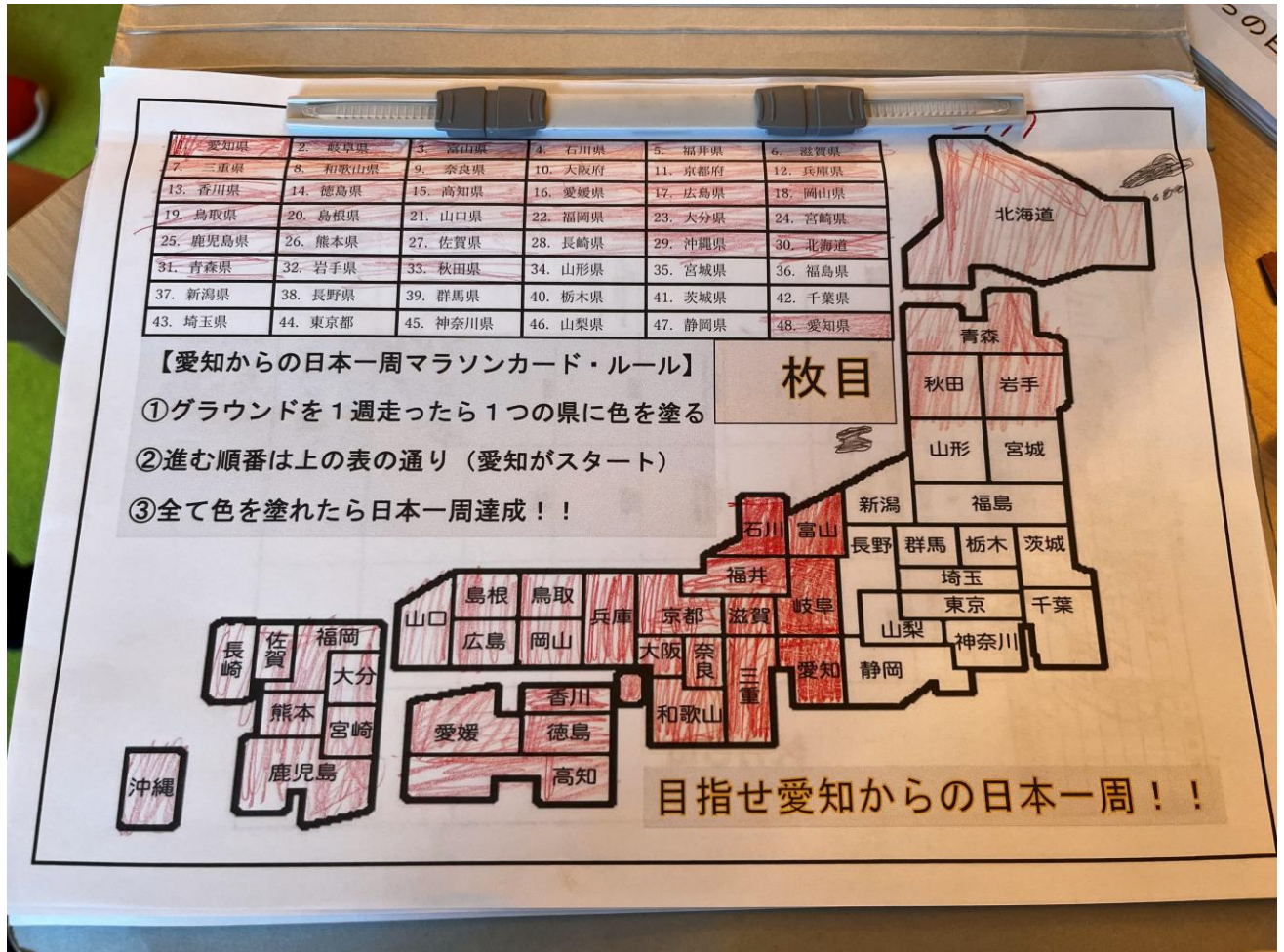
先日は、札幌からお客様がきました。

今日は、高知県から校長先生や指導主事の方々が来られました。

今度は、岩手から別のお客様が来られます。

全て、みんなの学習している様子を見て学びたいという先生方の申し込みです。

みんなの学びに向かう「熱」は、今たくさんの方の心を動かしています。



☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

